

「文化庁メディア芸術祭 岡山展」 TOUCH & SEE 触ってみよう！見てみよう！

文化庁では、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガなどの優れたメディア芸術作品の顕彰と鑑賞機会の提供を目的として、1997 年から「文化庁メディア芸術祭」を実施しています。また、2002 年からは、これらの受賞作品などを幅広く紹介するため、国内外のさまざまな都市に巡回する企画展を開催しています。今年も、海外においてはイスタンブールで、国内においては京都と岡山で企画展を開催します。

「文化庁メディア芸術祭 岡山展」は、「第 25 回国民文化祭・おokayama 2010」の開催に合わせ、10 月 30 日（土）から 11 月 7 日（日）まで岡山市デジタルミュージアムで開催します。本展覧会では、「TOUCH & SEE 触ってみよう！見てみよう！」をテーマに、メディア芸術作品の数々を紹介しします。近年の文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心に、触ることによって多様な変化や反応が起こるインタラクティブアートの展示や、手描きやクレイ、パペット（人形）などの多彩なアニメーションの上映を行います。また、会期中は出展アーティストによるプレゼンテーションや講演会、ワークショップなども実施します。

温もりが通うメディア芸術の魅力を体験できる貴重な機会となります。

開催概要

- 名 称 文化庁メディア芸術祭 岡山展
Japan Media Arts Festival in OKAYAMA
- 会 期 10 月 30 日（土）～ 11 月 7 日（日）
10:00～18:00（入館は 17:30 まで）※会期中無休
- 会 場 岡山市デジタルミュージアム
〒700-0024 岡山市北区駅元町 15-1
- 観覧料 無料
- URL <http://plaza.bunka.go.jp/okayama/>
- 主 催 文化庁
- 共 催 第 25 回国民文化祭岡山県実行委員会、
岡山市デジタルミュージアム、CG-ARTS 協会
- 問合せ CG-ARTS 協会 文化事業部 03-3535-3501



展覧会ポスター

* 10 月 30 日（土）にプレスの皆様への説明会を予定しております。10 月中旬にご案内させていただきます。

この件に関する問合せ先

CG-ARTS 協会 広報 篠原・千葉 TEL 03-3535-3501 FAX 03-3562-4840 URL <http://plaza.bunka.go.jp/q/>

展示

「触ってみよう！」をテーマにして、歴代の文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心に、インタラクティブアートやゲーム、Web など、触ることによって多様な変化や反応が起こる作品を展示します。メディア芸術を子供から大人まで楽しく体験することができます。

参加作家: Alvaro CASSINELLI、Alexis ZERROUG、安藤 英由樹、笈 康明+ 苗村 健+ 松下 光範、草地 映介、栗原 優作、クワクポリョウタ、近森 基++久納 鏡子、中村 勇吾、馬場 哲晃、福森 みか、plaplaX、真鍋 大度、Juan Carlos Ospina GONZALEZ、渡邊 淳司 (50 音順)



『PLX』クワクポリョウタ (第7回) ©クワクポリョウタ



『scoreLight』Alvaro CASSINELLI、真鍋 大度、栗原 優作、Alexis ZERROUG (第13回) © Alvaro CASSINELLI



『hanahanahana』plaplaX (第10回) © plaplaX, 2009

※ () 内は、作家または作品の文化庁メディア芸術祭受賞回です。

上映

「見てみよう！」をテーマにして、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心に、劇場公開アニメーションや短編アニメーションを上映します。短編アニメーションのプログラムでは、パペット (人形) や、手描きによる作品を特集し、手で表現することの重要性や魅力を紹介します。

上映プログラム: 『サマーウォーズ』、『東京マグニチュード 8.0』、文化庁メディア芸術祭短編アニメーションセレクション



左から
『サマーウォーズ』細田守 (第13回)
© 2009 SUMMERWARS FILM PARTNERS

『東京マグニチュード 8.0』橋正紀 (第13回)
© 東京マグニチュード 8.0 製作委員会

『電信柱エレミの恋』
中田 秀人 (ソバットシアター) (第13回)
© ソバットシアター

※ () 内は、作家または作品の文化庁メディア芸術祭受賞回です。

イベント

ワークショップ「闇鍋サウンドボックスを作ろう」

講師：クワクポリョウタ

日時：10月31日 (日) 13:30 ~ (2時間程度)

場所：岡山市デジタルミュージアム 4F 講義室

参加方法：要申込 ※詳細は後日 Web サイトに掲載予定です。

『電信柱エレミの恋』上映 & 講演会

出演：中田 秀人監督 (ソバットシアター)

日時：11月3日 (水・祝) 14:00 ~ 16:00

場所：岡山市デジタルミュージアム 4F 講義室

参加方法：当日 10:00 から 4F 受付にて先着順 (80名) に整理券を配布予定。

同時開催 Okayama Media Arts Festival 2010 (OMAF2010)

メディア芸術を学ぶ県内大学・専門学校の学生や教育者を中心に「岡山におけるメディア芸術の今」を発信します。岡山県立大学出身の映像作家・山口崇司が参加するユニット「d.v.d」(drums, visuals, drums) ライブも開催します。

場所： 岡山市デジタルミュージアム 5階特設会場（ライブ、トークは4階講義室）

観覧料： 無料

主催： 第25回国民文化祭岡山県実行委員会



会場案内

[岡山市デジタルミュージアム]

開館時間： 10:00～18:00（入館は17:30まで）※会期中無休

所在地： 〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町15-1 TEL 086-898-3000

アクセス： JR岡山駅西口向かい、リットシティビル南棟4・5階

※専用駐車場、契約駐車場はございません。

観覧料： 無料

※岡山市デジタルミュージアム常設展もご覧になる場合は、以下の入館料が必要。

[個人] 一般300円、大学生・高校生200円

[団体(20名以上)] 一般240円、大学生・高校生160円

※中学生以下／65歳以上の方／身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳

持参者とその付添い者1名は無料。



文化庁メディア芸術祭について

「文化庁メディア芸術祭」はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガなどを対象にしたフェスティバルです。1997年に第1回を開催し、今年で14回目を迎えます。第13回では世界54ヶ国・地域から2,592作品の応募があり、その受賞作品展には63,348名の来場がありました。今年度の「文化庁メディア芸術祭」は以下のとおりです。

[第14回文化庁メディア芸術祭]

作品募集：2010年7月15日(木)～9月24日(金)

受賞作品展：2011年2月2日(水)～2月13日(日) 会場：国立新美術館(東京都・六本木)